



沓掛小学校だより

4月号

未来を拓く ～元気・やさしさ・かがやく瞳～

NO. 565

<http://www.sugunami-school.ed.jp/kutsukakeshou>

平成28年度の始まりです 御入学、御進級、心からお祝い申し上げます

校長 師岡 孝明

妙正寺川沿いのしだれ桜が、見事に咲き誇り春がやってきました。いつもの年に比べて、桜の開花が早まりすでに葉桜となっているものがありますが、春本番の頃となりました。

本日から、沓掛小学校の平成28年度がスタートしました。新一年生を迎えるとともに、子供たちは一つずつ進級し、お姉さん、お兄さんになりました。新しい先生、新しい友達、新しい学習、様々な出会いがあります。子供たちが「社会の中で自立し未来を切り拓いていける自分」を胸に描いて歩む毎日を、教職員一同、力をあわせて支援してまいります。今年度は新一年生91名を迎え、全校児童585名でのスタートです。子供たち一人一人が新たな出会いと進級の喜びをかみしめ、これから力強く成長してほしいと願っています。

平成28年度は、教育目標～未来を拓く～と設定し、人間の育成を主眼とし、「元気」「やさしさ」「かがやく瞳」と設定しました。その中でも、「かがやく瞳」を重点目標として学校運営にあたります。

教育目標を達成するための具体的な手立ては3点あり、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を中心として教育目標の達成を図ってまいります。

第1点目として「確かな学力」を身に付けさせることです。

そのために「学び残しをなくす」指導を強化します。具体的には、算数科においては1年生から少人数習熟度別指導を実施します。また、次期学習指導要領の改訂に向けて、「アクティブラーニング」を意識した、ペア学習・問題解決型の学習をすべての教科で積極的に実施いたします。具体的には、子供自らが課題を設定し、その課題解決を図っていく、という授業展開です。ですから、教師が黒板の前に立って説明しているだけの教師主

導型の授業からの完全な脱却です。「学び残し」をなくすための指針として、東京ベーシックドリルの活用を図ると同時に、授業内における学習支援を徹底していきます。

第2点目としては「豊かな心の育成」です。そのために、家庭・地域と連携して「基本的行動様式を身に付ける指導」を徹底していきます。具体的な指導事項としては、「挨拶」「言葉づかい」「廊下・道路歩行」「持ちもの」「きまり順守」を子供たち一人一人に徹底させます。そのためにも、「沓掛小のきまりと確認事項」に則った指導をすべての教員が実施していきます。もちろん子供たちにとってのものではありますが、教員一人一人にとってのきまりと確認事項になります。

第3点目は「健やかな体」をつくる事です。そのために、「運動に親しむ児童の育成」を目指します。このことは2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックに向けての取組でもあります。具体的な内容は、昨年度同様金曜日に「トライやるデー」を設定するとともに、歩数計の活用を行います。歩数計に関しては、3年生以上の活用利用とするとともに、その効果をしっかり数値的に明らかにしていきます。さらに、次年度もオリンピック・パラリンピック推進校としての取り組みを実施していきます。これらの活動を通して、望ましい食習慣や運動習慣、さらには、生活習慣の確立を図ることを通して、自分自身の体を大切に児童の育成を図っていきます。

最後になりますが、地域とともに歩む学校を念頭に日々の教育活動に力を注いでまいります。保護者の皆様、地域の皆様の御協力と御理解、御支援をお願いいたします。